

教弘会報

埼玉

新年号



No. 267

令和 6 (2024) 年 1 月 11 日 発行

最終受益者は子どもたち

編集・発行:



公益財団法人
日本教育公務員弘済会埼玉支部
株式会社 埼玉教弘



運動会「笑顔いっぱい・感謝いっぱい・感動いっぱい」 熊谷市立三尻小学校 (本文 p.6)

巻頭言

大空へと駆け昇る龍のごとく !!

支部長 細田 宏 p.2

教育研究助成金贈呈式並びに
教育講演会アンケート結果 p.2

教育実践報告 並びに 生涯学習実践作文表彰式
及び 受賞者の皆様 p.4-5

ハートフルコンサート p.3

学校NOW 熊谷市立三尻小学校

校長 長谷川 雅夫 p.6

私の授業づくり

埼玉県立川口工業高等学校 (定時制)

教諭 柳 琢也 p.7

学校応援キャンペーン「学校賞」の贈呈 p.7

令和 6 年度福祉事業の変更について p.8

第 15 回 LC の訪問記

私の出会った素敵な学校

埼玉県立深谷はばたき特別支援学校 p.8

私の読んだ本・読者プレゼント! 「一緒にいると楽しい人、疲れる人」

坂戸市立上谷小学校 教頭 畑生 百合子 p.8

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 (以下「日教弘」) の会員になりましょう!

- ① 日教弘の会員になれるのは、当会の事業の趣旨に賛同する公立の学校・幼稚園、その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる者、又はこれらの退職者です。
- ② 右記の二次元コードからも入会のお手続きができます。
- ③ 会費等費用は一切不要です。④ 入会された方には会員証をお送りします。

会員としてのメリット 会員になることで福利厚生サービス (「日教弘クラブオフ」) を利用することができます。

Webでの
入会は
こちらから





大空へと駆け昇る龍のごとく !!

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部
支部長 細田 宏

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに令和6年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年10月8日(日)に4年振りに完全開催された国の重要無形民俗文化財に指定されている「秩父吉田の龍勢」を観賞しました。龍勢とは、「椋神社例大祭」に五穀豊穰を祈り奉納する神事として、この地域で代々受け継がれてきた「手作りロケット」のことです。ロケットは高さ約20mの櫓から打ち上げられ、噴射によって約500mの上空まで上昇するものもあり、その打ち上がる様が龍が昇天する姿に似ていることから龍勢と呼ばれているとのことです。

27本の龍勢の中には、地元の小・中学生が制作した落下傘が装着されたり、打ち上げる前には「トーザイ、トーザイ、

ここに掛け置く龍の次第は～」と始まる口上を述べる場面があったりと、龍勢が白煙を上げて空高く舞い上がるたび、地域を挙げての情熱や迫力、絆の深さを感じるものでした。

干支「辰」の新しい年を迎えました。当支部は引き続き「最終受益者は子どもたち」という理念のもと、本県教育の振興と教職員の福祉向上に向け、少しでもお役に立つように諸事業や活動に取り組んでいく所存であります。そして、「秩父吉田の龍勢」のように天高く、皆様方とともに大きく飛躍してまいります。皆様には、今年もよろしくご指導及びご協力をお願い申し上げます。



「雲上昇龍」



口上を奉納する吉田中学校の生徒



令和5年度 教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会 アンケート結果

講演題：日本の教育の現状と課題

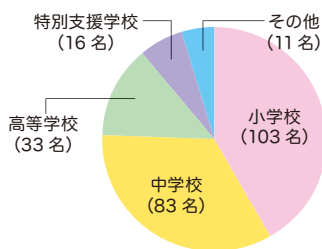
講師：東京大学大学院教育学研究科教授
日本学術会議連携会員

本田 由紀氏

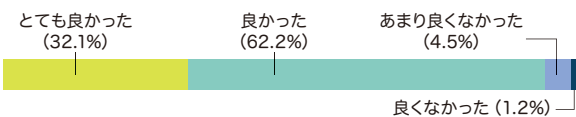
ご回答ありがとうございました。

※アンケートは、246名の方々に協力いただきました。

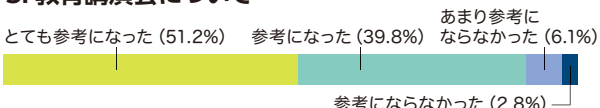
1. 校種



2. 教育研究助成金贈呈式について



3. 教育講演会について



4. 教育講演会の主な感想（一部抜粋）

現場でできることは限られているが、今の閉塞感を打開していくためにも水平的多様性を重視した学校教育にシフトしていく試みをしていくことが大切だと感じた。

現状と課題はよく分かったので、今後の対応をもっと聞けるとよかった。

日ごろ感じている課題について、統計と一致する部分が多く、解決に向けてどのような保育をするべきか考えていきたい。

データをもとにした説明で参考になったが、現場がどうしていけばよいか管理職へのヒントが欲しかった。

学校教育に関わる全ての人が足元から課題を解決していく主体性を発揮し、子どもたちに還元していかねばと意を強くした。

教育の根幹的な話だったので、日本が抱える多くの課題に対し、何ができるのかを見据えて教育活動を行う必要があると感じた。

令和5年度

弘済会埼玉支部 PRESENTS

ハートフルコンサート Part I

ハートフル コンサートとは？

県内国公立特別支援学校に、プロの音楽家による演奏や劇団による演劇等を生で鑑賞する機会を提供することにより、児童生徒が芸術に親しみ、豊かな心を育てる機会としています。平成29年度から開催している当支部の教育文化事業です。各学校でのコンサートは、概ね3年に1度開催されます。令和5年度は13校で開催予定です。

事業の種類

Aタイプ

学校が、当支部の契約する企画会社と協議して計画・実施。費用は、当支部が全額を助成。

Bタイプ

学校が、独自に本事業の目的に即した「ハートフル コンサート」を計画・実施。費用は、当支部が一定額を助成。

実施校報告

各学校及び公演団体の皆様は、新型コロナウイルス等の感染対策を徹底して、実施していました。

埼玉県立特別支援学校さいたま桜高等学園

Bタイプ

令和5年 10月2日(月) 13:20~15:20



サウンドアート集団 SILT の代表 船本恵太さんとピアニスト Yuki さんによる新パフォーマンスユニット「月ノ影」のサウンドアートのコンサートを学校に届けました。船本さんが描き出すサウンドアート、Yuki さんのピアノ演奏、お二人の歌、そして船本さんの絵本の朗読と、二人のコラボレーションが作り出す世界に生徒たちは最初から最後まで魅入られていました。プログラムにはサウンドアートの体験コーナーもあり、美術部の生徒たちがチャレンジしました。また、休憩前に作った作品を船本さんが「どうぞ見に来てください」とそのまま残して退場すると、生徒たちが集まって眺めていましたが、いつのまにか生徒たちの指が作品の砂を動かしかじめていました。戻ってきた船本さんは、「いい作品にしてもらいました」と生徒たちを褒めてくれました。コンサート終了後の懇談会では生徒会の生徒6名が出席し、船本さんと Yuki さんを囲みました。コンサートを振り返り、「こんなに素晴らしい生徒たちの前でお見せできて幸せです」という船本さんの言葉に、「日本一の生徒たちだと誇りに思っています」と三原校長先生が応えていらっしゃいました。

埼玉県立越谷特別支援学校

Aタイプ

令和5年 10月26日(木) 10:05~12:00

チーム・絆によるコンサートを届けました。チーム・絆は今年度二度目のコンサートになりますが、今回はマスクを外して歌うことができ、その喜びが子どもたちにも伝わり、子どもたちもチーム・絆の歌や演奏を楽しんでいる気持ちを返してくれて、ステージと聴衆が一体となって素敵なコンサートを作り上げることができました。コンサート終了後の花束贈呈では、キャスト一人ひとりに花束を贈りながら一所懸命話しかける生徒の姿が印象的でした。また、コンサートは学校で参加できない訪問教育部の児童生徒にもオンライン配信されました。



埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園

Aタイプ

令和5年 10月31日(火) 10:50~11:35/13:25~14:10



チーム・三宝会による和太鼓の演奏と獅子舞のコンサートを学校に届けました。コンサートは、給食を挟んで午前中に幼稚部と小学部、午後には中学部、高等部、専攻科と分けて行いました。聴こえる程度が一ひとり異なる子どもたちに、耳に入ってくる音だけでなく、身体全体で感じる振動も楽しんでもらいました。また、コンサート終了後には会場出口で獅子舞の獅子が子どもたちを待っていて、獅子舞の獅子に頭をかじられると幸運が訪れると、子どもたちが並んで獅子の口に頭を入れていました。学校が用意してくださったプログラムを子どもたちみんなが携えてコンサートを聴きにきてくれ、学校全体でハートフルコンサートを大事にしていることを強く感じました。三宝会の演奏に対して子どもたちからは、「演奏が始まると太鼓からすごい振動がきて、びっくりした。」「前からとても楽しみにしていた。今日は演奏してもらってありがとうございました。」「また来てください。」などの感想が寄せられました。

埼玉県立本庄特別支援学校

Aタイプ

令和5年 11月24日(金) 9:55~11:55

チーム・かのかんぷりによるコンサートを届けました。コンサートの冒頭から、この日のコンサートを楽しみに待っていてくれた子どもたちの気持ちが弾き出て、かのかんぷりのメンバーもそれにしっかりと応えてくれて、さらに子どもたちが「虹」や「明日へ向かう」の演奏では大きく元気な合唱で返す、とても素晴らしいコンサートになりました。コンサート終了後には、退場するチーム・かのかんぷりを走って追いかけ、まだ離れたくない、終わってほしくないという気持ちを訴える子たちがいました。かのかんぷりの皆さんから、特別支援学校の子供たちは飾らないホンモノの反応を返してくれます、特別支援学校での演奏は自分たちにとってプライスレスで、この感情は他ではもらえません、という感想をいただきました。



埼玉県立特別支援学校羽生ふじ高等学園

Bタイプ

令和5年 11月25日(土) 15:25~16:10



羽生ふじ高等学園全校生徒による合唱ミュージカル「ライオンキング」を届けました。羽生ふじ高等学園では、開校以来、「ライオンキング」に取り組んでいます。羽生ふじの全校生徒と、羽生第一高校の吹奏楽部員、誠和福祉高校の「おうたの会」の生徒と作り上げる「ライオンキング」は、コロナ禍にあっても歌い続け、今回は文化祭で、4年ぶりに観客を入れての披露となりました。生徒たちは音楽の授業で「ライオンキング」に取り組み、歌い込み、今年は6月と10月に声楽家でオペラ歌手の吉武大地さんの指導も受けました。観客を前にして歌うのは全員が初めての経験でしたが、堂々と、表現力豊かに、そして感動的に歌い上げてくれました。

埼玉県立所沢特別支援学校

Aタイプ

令和5年 11月28日(火) 10:10~11:50

チーム・絆によるコンサートを届けました。チーム・絆によるコンサートは令和2年度に計画していましたが、コロナ禍により延期がくり返され、毎年打合せで学校には何うものなかなか実現に至らず、今年ようやく開催することができました。コンサートは小学部と中学部の二部構成で実施しました。子どもたちは、先生方も驚くほどチーム・絆の音楽に集中して耳を傾け、リズムに合わせて身体を動かすときにはしっかりと動かし、コンサートをとても楽しんでいました。コンサートが終わり、教室へ引き上げてからわざわざ感想を伝えに来てくれた子もいました。PTA 役員の方たちにも聴いていただきました。PTA 会長様からは開会式でのご挨拶、閉会式でのお礼の言葉を頂戴いたしました。



教育実践報告並びに生涯学習実践作文表彰式及び受賞者の皆様

令和5年11月29日(水) 埼玉教育会館

当支部では、教職員が実践している日ごろの教育活動や研究の成果をまとめ、発表する機会として「教育実践報告」を募集しております。また、県内在住者、在勤者を対象にテーマを設けて、日々の暮らしの中で実践していることを発表する機会として「生涯学習実践作文」を募集しております。教育実践報告70編、生涯学習実践作文19編のご応募をいただき大変ありがとうございました。なお、これらの実践は、それぞれ「教育実践報告集55」、「生涯学習実践作文集34」に掲載し、令和6年4月に刊行の予定です。



教育実践報告受賞者と審査委員



生涯学習実践作文受賞者と審査委員

令和5年度 教育実践報告審査委員会委員

| | | |
|------|-------|---------------------------------|
| 委員長 | 堀田 香織 | 国立大学法人 埼玉大学教育学部長 |
| 副委員長 | 牛久 裕介 | 埼玉県立総合教育センター総合企画長 |
| 委員 | 山田 浩一 | 上尾市立上平小学校校長(埼玉県公立小学校校長会副会長) |
| 委員 | 森田 吉信 | 川口市立南中学校校長(埼玉県中学校長会副会長) |
| 委員 | 内田 正俊 | 埼玉県立所沢高等学校校長(埼玉県高等学校長協会) |
| 委員 | 小池八重子 | 埼玉県立越谷特別支援学校校長(埼玉県特別支援学校校長会副会長) |
| 委員 | 三橋 勝美 | 埼玉県教職員組合書記局長 |
| 委員 | 伊藤 稔 | 埼玉県高等学校教職員組合専門委員 |

令和5年度 生涯学習実践作文審査委員会委員

| | | |
|------|-------|----------------------|
| 委員長 | 山本 和人 | 東京家政大学名誉教授 前東京家政大学学長 |
| 副委員長 | 大磯 宏 | 前埼玉県立小学校校長会事務局長 |
| 委員 | 渡邊 秀昭 | 元埼玉県立川口北高等学校長 |
| 委員 | 小川三代子 | 元加須市立三俣小学校長 |
| 委員 | 加藤 美幸 | 元朝霞市立朝霞第二小学校長 |
| 委員 | 伊地知幸子 | 埼玉県PTA連合会事務局長 |
| 委員 | 川田 清隆 | 埼玉県高等学校PTA連合会事務局長 |

令和5年度 教育実践報告並びに生涯学習実践作文 受賞者の皆様

教育実践報告

(敬称略、配列は受付順)

ヤング部門

* 優秀賞 *



埼玉県立熊谷特別支援学校
教諭 大島 啓輔

肢体不自由校における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業
～ PBL を用いた総合的な探究の時間の検討～



さいたま市立木崎小学校
教諭 難波 巧

運動の特性や魅力に応じて楽しさや喜びを味わうとともに、資質・能力をバランスよく身に付ける授業の工夫
～ 3年生陸上運動「幅跳び」の実践を通して～



加須市立高柳小学校
教諭 三村 博紀

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体化を目指した体育授業に関する一考察
～ 3つの資質能力を高め、誰もが運動好きになれる『跳の運動遊び』の実践から～

優良賞

| | | |
|---------------|----|--------|
| さいたま市立大砂土東小学校 | 教諭 | 株木 未央 |
| さいたま市立白幡中学校 | 教諭 | 市川 慶太 |
| さいたま市立本太小学校 | 教諭 | 有江 聖 |
| 埼玉県立岩槻北陵高等学校 | 教諭 | 池田 岳郎 |
| 新座市立石神小学校 | 教諭 | 手嶋 大介 |
| 寄居町立用土小学校 | 教諭 | 松村 和樹 |
| 越谷市立大袋小学校 | 教諭 | 松本 クリス |
| 上尾市立大石南小学校 | 教諭 | 高橋 博将 |
| 新座市立栄小学校 | 教諭 | 岸本 拓也 |
| 所沢市立和田小学校 | 教諭 | 藤原 弘之 |

佳作

| | | | | | |
|------------------|----|-------|--------------|----|-------|
| 富士見市立関沢小学校 | 教諭 | 原田 麻那 | 富士見市立つるせ台小学校 | 教諭 | 鈴木 理紗 |
| 川越市立福原小学校 | 教諭 | 朝倉 大輔 | 熊谷市立石原小学校 | 教諭 | 下田 楓 |
| 熊谷市立大里中学校 | 教諭 | 横田 真澄 | 東松山市立北中学校 | 教諭 | 國本 千里 |
| 埼玉県立岩槻はるかぜ特別支援学校 | 教諭 | 小山 貴之 | 川越市立砂中学校 | 教諭 | 小川瑛里香 |
| さいたま市立新開小学校 | 教諭 | 戸村 大希 | 春日部市立牛島小学校 | 教諭 | 稲葉 翔太 |
| 埼玉県立光南特別支援学校 | 教諭 | 高橋 賢悟 | 川島町立西中学校 | 教諭 | 行木 遼 |
| 桶川市立桶川東中学校 | 教諭 | 武田 梨瑠 | さいたま市立浦和中学校 | 教諭 | 白田 彩華 |
| さいたま市立大門小学校 | 教諭 | 西川 裕真 | 戸田市立戸東小学校 | 教諭 | 有泉孝一郎 |
| 鴻巣市立吹上小学校 | 教諭 | 内野 皓輝 | 川越市立山田小学校 | 教諭 | 星 優樹 |

一般部門

* 優秀賞 *



さいたま市立浦和高等学校
教諭 濱野 清澄

特別な留学経験もない高校生を、国際ディベート大会で勝利させるまで
～優勝校日本代表として初の決勝トーナメント出場、日本新記録を達成～



さいたま市立植竹小学校
教諭 菊池 健一

児童が主体的に学ぶ防災学習の実践
～ NIE（教育に新聞を）と ICT 活用の融合を通して～



川口市立前川小学校
事務主査 小沢 篤

事務職員が核となる働き方改革の実践について
～新たな会計システムの導入による業務改善と事故防止への挑戦 -enpay（エンペイ）とゆうちょダイレクト導入-～

優良賞

新座市立新堀小学校 教諭 工藤 俊輔
埼玉県立日高特別支援学校 教諭 齋藤 朝子
入間市立扇小学校 教諭 八田 敦史
越谷市立富士中学校 教諭 鈴木 慎一
さいたま市立浦和高等学校 教諭 大江 裕子
越谷市立越ヶ谷小学校 教諭 寺川 耕平

佳作

戸田市立笹目東小学校 教諭 土信田 幸江
川島町立中山小学校 教諭 渡辺 一弘
川口市立青木中央小学校 栄養教諭 高田 マリ
さいたま市立指扇北小学校 教諭 倉内 唯気
埼玉県立川口東高等学校 教諭 小山 寛之
埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園 教諭 手塚 勇一
川島町立伊草小学校 教諭 山田 卓
熊谷市立石原小学校 教頭 清水 隆章
川島町立つばさ南小学校 主幹教諭 原 一芳
埼玉県立いずみ高等学校 教諭 田熊 重利
埼玉県立越谷特別支援学校松伏分校 教諭 鈴木 紗枝
埼玉県立岩槻はるかぜ特別支援学校 教諭 中山 幸生

学校部門

* 優秀賞 *



戸田市立戸田第二小学校
校長 山根 淳一

Open Up!
～ Art をとおし、主体的に学び続け、他者と協働し、新たな価値を生み出すことができる児童の育成～

優良賞

皆野町立皆野中学校 校長 小菅 恭青史
鳩山町立鳩山幼稚園 園長 岡部 玲子
さいたま市立片柳中学校 校長 加藤 明良

佳作

熊谷市立石原小学校 校長 関根 達郎
埼玉県立富士見高等学校 校長 佐賀 博



生涯学習実践作文

(敬称略、配列は受付順)

* 最優秀賞 *



寺田 竹雄
(杉戸町)

自分の学びを生かした課題解決の実践

* 優秀賞 *



今井 進
(秩父市)

自分の学び＝生涯学習を生かした課題解決の実践



細田 文子
(久喜市)

私の課題解決実践～仕事と共にあった学び～



関 彩加
(熊谷市)

自分の学び
～取り組みを通して発見！熊谷市の困難に打ち勝つまちづくり～

優良賞

さいたま市 山極 尊子
深谷市 黒屋 ゆう子

佳作

志木市 石川 浩 三郷市 白川 好光
春日部市 中田 宗紀 所沢市 上林 正志



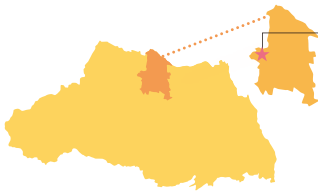
校舎

マスコット
キャラクター
(みしリス)



熊谷市立三尻小学校

(〒360-3843 熊谷市三ヶ尻2862-1)
児童数：356名 学級数：15
TEL 048-532-3659 FAX 048-530-1098
http://www.mishiri-e.ed.jp/



本校は、明治6年に熊谷市三ヶ尻にある幸安寺に開校し、今年度151年目を迎えた歴史と伝統のある学校です。子どもたちも教職員も「笑顔いっぱい・感謝いっぱい・感動いっぱい」を合言葉に明るく元気に頑張っています。保護者・地域の皆様へ力強い支援をいただきながら、学校教育目標「今を全力で生き、未来を切り拓く三尻っ子の育成」を目指して、全教職員が一丸となり「チーム三尻小」で全力を尽くします。 (校長 長谷川 雅夫)

●開校150周年記念式典



開校150周年記念式典を昨年5月に開催しました。新型コロナが5類に移行し、入場制限を緩和してたくさんの来賓、保護者、卒業生、地域の皆様をお迎えすることができました。声高らかに「三尻っ子宣言」をしました。

三尻っ子宣言

私たち三尻っ子は、これからも「笑顔いっぱい・感謝いっぱい・感動いっぱい」の合言葉を胸に、自分も周りの人も大切にしていきます。たくさんの先輩方が築いてきた150年の伝統を引き継ぎ、さらに素晴らしい学校にしていきます。三尻に生まれ育ったことに誇りをもち、今を全力で生き、皆で力を合わせ、明るく光る未来を切り拓いていくことを誓います。

児童の声

開校150周年の節目の式典にたくさんの方々に参加できてうれしい気持ちです。記念ソングもできました。三尻小学校の「歴史」に立ち会えて感激しています。



記念式典の様子

●郷土愛の醸成・豊かな心の育成

1. 三尻アーカイブス・三尻小検定

「まちは知れば知るほど好きになる」と言われます。職員玄関の一角に、学校や地域の歴史、自然、文化等に関する情報を発信するコーナー「三尻アーカイブス」を整備しました。総合的な学習の時間などに活用しています。「三尻小発祥の地」や「校地内から出土する土器の時代」を問う「三尻小検定」としてクイズ形式で興味・関心を持てるようにしています。卒業生や地域の方も思い出話に花を咲かせています。



三尻アーカイブス

2. 縦割り活動

異学年の交流を目的に、運動会、縦割り遊び、ランチ、花の栽培、清掃、持久走記録会などの活動を行っています。①めあて ②実践 ③振り返りのサイクルを大切にすることで目的意識を持ちながら進めることができます。それぞれの班で高学年児童がリーダーとしてやりがいを感じながら活動しています。子どもたちも楽しく活動し、充実した時間になっています。令和4年度から、活動場所を校外にも広げ「三尻っ子たんけん」として三尻地区の施設や自然等を実際に見て理解するとともに、地域を支え活躍する方から話を伺う機会を併せて設けることで、子どもたちが地域を誇りに思う気持ちを育てています。

児童の声

みんなをまとめるのは大変だけど、他学年の子と関わることで、みんな仲良く学校がさらに楽しくなってきました。三尻の魅力を知ることができてうれしいです。



縦割り活動のサイクル

3. あいさつ運動 ～感謝の気持ちを伝える～

本校では、元気なあいさつが伝統となっており、計画委員の子どもたちを中心にあいさつ運動に取り組んでいます。令和5年度は、地域でもあいさつを積極的にできるように、「三尻っ子たんけん Part2」として地域探検をスタンプラリー形式にして取り組みました。登校指導等でお世話になっているスクールガードさんの協力を得て、各チェックポイントでスタンプを押していただきました。「日頃の感謝の気持ち」を元気なあいさつで伝えるようにしました。

児童の声

地域の方とも交流できてうれしいです。いつもお世話になっている方々に感謝の気持ちを伝えるためにも、元気なあいさつを自分から先にしようと思います。



三尻っ子たんけん Part2

「私の授業づくり」

◀ 高等学校 工業(機械)



埼玉県立川口工業高等学校(定時制)
教諭 柳 琢也



はじめに

私が勤務している川口工業高校定時制は、夜間に開講し、主に機械と電気について実習を交えながら幅広く学ぶことのできる全校生徒が4学年で63名と少なく、アットホームな雰囲気の高校です。かつては働きながら高校卒業を目指す生徒が多いましたが、近年は、小中学校で不登校を経験したり、外国籍で日本語が苦手だったりなど、多様な生徒が学んでおり、必ずしも工業に興味があって入学した生徒は多くないという現状もあります。

そこで、生徒に「ものづくり」の楽しさを体感させ、「できた」という実感の積み重ねで自信をつけ、「ものづくり」がより楽しくなるという取組を行っています。

ものづくりの「楽しさ」を体感させ、「できた」という実感を積み重ねる

【基本の考えはこれ!】

「ものづくりは楽しい」「仕組みがわかったり、作品が完成したりすると嬉しい」という自身の経験を熱を込めて伝えます。教員が自分の教科が大好きだと示すことは、生徒のその教科への取組に大きな影響を与えると考えるからです。

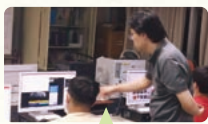
【発問の工夫・生徒との対話を大切に】

「究極の椅子を作る方法」や「もし洗濯機を作るならどんな仕組みが必要?」など、生徒に興味を持たせる発問の仕方やそれに伴う生徒との対話を大切にしながら、「ものづくり」への関心を高め、「自分でも作りたい」という意欲を育てています。

【一人一人に応じた支援で意欲を維持する】

実習では、完成までに必要な技能や知識をわかりやすく指導しています。一人一人の習得状況に合わせたアドバイスをしたり、製作を手助けしながら「できた」「わかった」を感じられる授業を作るよう心掛けています。

また、技術の上達などを褒めることも大切にしています。小さな変化・上達が「できた」という達成感となり自信につながるので、この瞬間を大切にしています。



「私の好きなこと」のプレゼン用パワーポイントを作成(工業情報数理)

地域貢献を活用して、「ものづくり」をより楽しめる仕組みを構築する

コロナ禍以前は、地域の小学生を対象に「ものづくり教室」を開催していました。部活動の一環として、生徒も指導員として活躍していました。その経験から、公民館や市から「ものづくり教室」や「子ども大学かわぐち」への参加依頼が来た時にも協力を申し出ました。

生徒が感じた「ものづくりの楽しさ」を地域貢献という形でアウトプットできる機会を逃すわけにはいかないと考えたからです。

市内の小学生を対象とした講座では、「電子オルゴール」や「プログラミングカー」、「坂道を歩く木のおもちゃ」「トコトコくん」の組立をアドバイザー、小学生と一緒に作業しながら、小学生が「ものづくり」を楽しんでいる様子を嬉しそうに見守ったり、丁寧なアドバイスをしたりしていました。作品が完成し喜ぶ小学生を見た時には、生徒も一緒に喜んでいました。



坂道を歩く木のおもちゃ「トコトコくん」の組立をアドバイザー



「トコトコくん」が動いた!

おわりに

定時制の生徒が、知識や技能を高め、作品を完成させるということだけにとどまらず、地域貢献や開かれた学校づくりに寄与する姿は、本当に尊く眩しいものです。彼らが、今後、「ものづくり」を通して得た自信を様々な分野で高め・強めてほしいと切に願います。

学校応援キャンペーン「学校賞」の贈呈

県内 586 校、903 名の管理職の皆様から応募いただきました。

(全国では 20,078 名の管理職から応募いただきました)

同キャンペーンは来年度も実施予定です。
更に多くの皆様からの応募をお待ちしています。

当選校

- A賞 [看板兼非常用ストレッチャー] : 越谷市立明正小学校、羽生市立新郷第一小学校
- B賞 [大容量ポータブル電源] : 川島町立つばさ南小学校、八潮市立中川小学校、県立鴻巣高校
- C賞 [学校用ワンタッチタープ] : 狭山市立中央中学校、県立桶川西高校
- D賞 [スポットクーラー] : 長瀬町立長瀬第一小学校、県立大宮武蔵野高校



川島町立つばさ南小学校



県立桶川西高校

大容量ポータブル電源と素敵なお花を前に笑顔溢れる記念撮影
校名入りワンタッチタープを披露目しなから記念撮影

お祈りいたします
ご冥福を
つつしんで

| ご逝去 | ご尊名 | 所属等 | ご逝去 | ご尊名 | 所属等 | ご逝去 | ご尊名 | 所属等 |
|------|-------|--------------|-----|-------|----------|-----|-------|------------|
| 令和5年 | | | | | | | | |
| 2月 | 三原 昭子 | 友の会(さいたま市) | 8月 | 菊地 昭男 | 友の会(小川町) | 9月 | 山崎 茂雄 | 友の会(鴻巣市) |
| 7月 | 新井 次郎 | 友の会(秩父市) | 〃 | 中島 由江 | 友の会(宮代町) | 10月 | 石田 宣雄 | 友の会(飯能市) |
| 〃 | 風戸 芳子 | さいたま市立指扇北小学校 | 9月 | 石田 利江 | 友の会(鴻巣市) | 〃 | 西川 基 | 友の会(川越市) |
| 〃 | 熊谷 高三 | 友の会(ふじみ野市) | 〃 | 江原 襄 | 友の会(川越市) | 〃 | 星川 真澄 | 友の会(朝霞市) |
| 〃 | 箕田 良江 | 友の会(行田市) | 〃 | 木元 成典 | 友の会(加須市) | 〃 | 吉田 泰彦 | 友の会(さいたま市) |
| 8月 | 浅見 嘉正 | 友の会(秩父市) | 〃 | 小南喜代三 | 友の会(飯能市) | | | |
| 〃 | 小澤 六子 | 友の会(幸手市) | 〃 | 島谷 信夫 | 友の会(深谷市) | | | |

(敬称略)

令和6年度 福祉事業の 変更について

令和6年度から、以下の通り福祉事業の一部を変更します。

1. 人間ドック受診者への補助における資格・条件及び補助金額について、現職者と退職者の資格・条件等を同一にします。
2. 「友の会入会記念品贈呈」を廃止して、「60歳記念品贈呈」を新設します。
3. 「新規教弘保険加入者への記念品」、「現職の教弘保険継続者への記念品」について、図書カードを贈呈していましたが、品物に変更いたします。

※詳細は、2月発行の教弘会報268号でご案内する予定です。

LCの訪問記 私の出会った素敵な学校



第15回

埼玉県立深谷はばたき特別支援学校

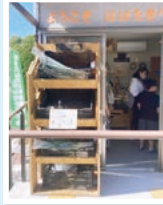
熊谷支社 熊谷第二営業所
シニアLC(ライフプラン・コンサルタント)
佐々木 麻理
シニアLC(ライフプラン・コンサルタント)
古川 奈帆子

ジブラルタ生命保険(株)
熊谷支社 熊谷第二営業所
所長 風巻 崇
〒360-0037 熊谷市筑波 2-102-1-6 階
TEL 048-501-0560



左から佐々木 LC 楠奥佳二校長先生 古川 LC

今回紹介させていただく学校は、深谷はばたき特別支援学校です。昨年7月からオープンしました「3AI* はばたきショップ」を紹介致します。令和2年度から計画をしていましたが、コロナ期間もあり、その後の物価高、建材費の高騰があり、やっと完成したそうです。ショップの名称、陶器の看板、設置してある棚も生徒たちの自作とのことです。これから社会に出ていく高等



ショップ入口

部の生徒たちは当番制で参加しており、レジやお客様対応を通して、地域のお客様との接点を得ることが出来、地域の方から「ありがとう」の言葉を頂けることが大きな励みになっているそうです。地域には農家の方や、製材所の方も多く、地域の協力が得られる環境を生かした運営を心掛けているそうです。将来的にこのショップが地域の方々の集まれる場所にしていきたくと頑張っています。物を作る作業、働く習慣を通して、生徒の成長につなげ、生徒それぞれが希望の進路に進めるようにしていきたいと、常に創意工夫をしながら教育をしているそうです。ホームページに開催日程がありますので、皆様も来店頂ければと思います。



店内の様子

*3AI 「愛」…思いやりのある学校
「藍」…藍色の空みたいに可能性は無量大
「合」…販売所を通じて地域とふれ合う

シリーズ 私の読んだ本 ◆No.84

「一緒にいると楽しい人、疲れる人」

坂戸市立上谷小学校
教頭 畑生 百合子



私は、最近「一緒にいると楽しい人、疲れる人」という本に出会いました。家族、職場、友達と接するのにコミュニケーション力は必須です。一緒にいる時間が長ければ長い程、楽しい人、安心できる人といいたいものです。そんな人になれたらと手に取ってみました。たしかに…と思うところもたくさんあり、実行できたら人間関係のストレスが減り、より楽しく過ごせるような気がしました。人生の喜びを味わい、共有できたら最高です。



有川 真由美 著
PHP 研究所

シリーズ「私の読んだ本」

読者プレゼント

「私の読んだ本」で紹介した本を
読者の皆さんにプレゼントします。

「一緒にいると楽しい人、疲れる人」
PHP研究所
3名様

応募締切…令和6年3月1日(金) 必着

※ 応募者多数の場合は抽選。賞品はジブラルタ生命の学校担当LC(ライフプラン・コンサルタント)がお届けし、当選者名と所属を「教弘会報埼玉」に掲載します。

応募要領

- 右記二次元コードを読み込むか
saitama@nikkyoko.or.jpまでEメールでご応募ください。
 - 希望する書籍名、学校名、氏名(ふりがな)を入力の上、次のいずれか一つをご投稿ください。
 - ① 「私の読んだ本」の記事の感想
 - ② 本会報「教弘会報埼玉 No.267」の感想
 - ③ その他、趣味・旅行・健康づくり・ストレス発散法・お勧めのお店・耳よりの話など何でも可
- ※ 感想や投稿記事は、応募者のご了解の上で「教弘会報埼玉」や「かわらばん HAPPY VOICE」に掲載することがあります(薄謝贈呈)。

☆ プレゼントの当選は年度内1回に限らせていただきます。

奮ってご応募
ください。

Eメールは
こちらから



会員の方のお名前・ご住所・ご勤務先等変更のご連絡はこちらから



令和6(2024)年
1月11日発行

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部
https://www.kyoko.or.jp/

株式会社 埼玉教弘
https://www.kyoko.co.jp/

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 3-12-24 TEL 048-822-7551(代表) FAX 048-834-0550

◆ 次号 教弘会報埼玉 No.268 は
令和6(2024)年2月22日
発行予定です。